

平成29年度

事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

学校法人 高野山学園

目 次

I. 法人の概要	P1
1. 法人の目的	P1
2. 設置する学校の所在地等	P1
3. 設置する学校・学部・学科等	P2
4. 入学定員及び学生数	P2
(1) 高野山大学	P2
(2) 高野山高等学校	P3
(3) 高野山幼稚園（高野山こども園）	P3
5. 役員・教職員数	P4
(1) 役員	P4
(2) 教職員数	P4
II. 事業の概要	P5
1. 高野山学園法人本部	P5
2. 高野山大学	P5
3. 高野山高等学校	P13
4. 高野山幼稚園（高野山こども園）	P23

I. 法人の概要

1. 法人の目的

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、仏教精神に則り、大学、高等学校、その他の教育施設を設置し、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。(『学校法人高野山学園寄附行為』第3条)

2. 設置する学校等の所在地等

設置する学校等	所在地	事業所長
高野山学園 法人本部	〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385 番地 TEL : 0736-56-2922	本部長 : 芝田 啓治
高野山大学	〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385 番地 TEL : 0736-56-2921 (代)	学長 : 乾 龍仁
高野山高等学校	〒648-0288 和歌山県伊都郡高野町高野山 212 番地 TEL : 0736-56-2204 (代)	校長 : 小野 芳幸
高野山幼稚園 (高野山こども園)	〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山 26-5 番地 TEL : 0736-56-2320	園長 : 佐々木基文

3. 設置する学校・学部・学科等

学校名	学部等		
高野山大学	文学部	密教学科、人間学科	
	大学院	文学研究科	密教学専攻修士課程・博士後期課程
			仏教学専攻修士課程・博士後期課程
			密教学専攻修士課程（通信教育課程）
	別科		
高野山高等学校	全日制課程 普通科		
	全日制課程 宗教科		
	広域通信制課程		
高野山幼稚園（高野山こども園）			

4. 入学定員及び学生数（平成 29 年 5 月 1 日現在）

（1）高野山大学

	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
文学部	密教学科	30	22		93
	人間学科	20	8		35
	計	50	30	200	128
大学院	密教学専攻				
	修士課程	13	10	26	15
	博士後期課程	3	2	9	2
	修士課程（通信教育課程）	20	25	40	139
	仏教学専攻				
	修士課程	8	1	16	2
	博士後期課程	3	1	9	1
	計	47	39	100	159
	別科	30	7	60	17

(2) 高野山高等学校全日制課程

全日制課程

区分	入学定員	入学者数	収容定員	生徒数
普通科	60	36	360	105
宗教科	20	6	90	20
計	80	42	450	125

通信制課程

区分	入学定員	入学者数	収容定員	生徒数
普通科	900	8	900	29

(3) 高野山幼稚園（高野山こども園）

区分	収容定員	幼児数
こども園	96	66

5. 役員・教職員数（平成29年5月1日現在）

(1) 役員

役職名	氏名	現員	定数
理事長	添田 隆昭	1	1

役職名	現員	定数
理事	10	10
監事	3	3
評議員	21	21

(2) 教職員

①法人本部

区分	専任職員	契約職員
事務局	1	1

②高野山大学

区分	学長	教授	准教授	助教	非常勤講師
教育職員	1	10	5	6	57

区分	専任職員 (契約含)	非常勤職員
事務職員	25	6

③高野山高等学校

全日制課程

区分	校長	教頭	専任教諭	非常勤講師
教育職員	1	2 (1)	15 (2)	13

区分	専任職員
事務職員	13

区分	非常勤職員
事務職員	2

④高野山幼稚園（高野山こども園）

区分	園長	専任教諭	契約教諭	非常勤講師	非常勤職員
教育職員	1	5	4	5	2

II. 事業の概要

1. 高野山学園法人本部

平成29年度は学園創立131年目であり、学校法人全体のさらなる飛躍を目指し、本学園における様々な施策を行ってきた。

法人本部の主な取り組みとしては、理事会・学園運営のガバナンス強化、学生・生徒のための教育支援・環境整備、適正な学園運営と情報公開、地域との連携による社会貢献であり、本学園の経営強化を図ることに努めた。

また、大学の新学科設立や高校の校舎リニューアルに向けた検討を進めてきた。

2. 高野山大学

(1) 事業の概要

高野山大学は、日本で初めて一般庶民に開かれた教育機関を構想した弘法大師・空海の思想に基づき誕生した大学であり、人間性に富んだ人材を育成し続け、卒業生は1万人を超える。世界中の人々が集う高野山の地で、未来を担うリーダーを「新しい学び」で育てることに努めてきた。

平成29年度は、教育理念である「すべての命の営みを尊び、人間と環境の調和と共生をはかり、異文化を理解し、広く社会に貢献できる、そのような人間性豊かな人材の育成」を全教職員がしっかりと認識し、各部門の課題を実現あるいは解決していくことを目標として、大学運営を行った。具体的に、運営方針を表す標語として「学生ファースト」と「丁寧な指導と対応」を掲げ、それらの取り組みにより、学生満足度が高く、特色のある大学を目指している。

本学の特徴を打ち出すため、人間学科のコース制導入や、密教の学びの魅力を発信し続けてきた。平成30年度に向けて、カリキュラム改革を予定しており、さらなる学びの充実を図っていく。

学生へのサポートでは、学生の満足度の向上を目指し、教員によるアドバイザー制度の導入、僧侶以外の道を選ぶ学生の就職支援等の強化を図り「入学してよかった」と思ってもらえる大学にするため、教職員が一丸となって学生サポートに努めた。

また、外国人留学生や社会人の受け入れの充実を図るため、留学生向け入試や留学生専用寮の整備、難波サテライト教室の活用、社会人入学生への支援等をさらに進めてきた。

最重要課題である学生募集については、定員充足の目途が立っており、今後、さらに本学の魅力を効果的に伝えられる方策を検討していく。

(2) 教育・研究および運営に関する改善・改革の取り組み

①密教学科

社会に真に必要とされる真言僧侶を育成するため、また、密教や仏教に関心のある人たちに魅力ある学びを提供するため、密教と仏教を基礎から学べるカリキュラムを構築してきた。カリキュラム改編は平成30年度を予定している。

②人間学科

人間学科にコース制（地域デザインコース・日本文化コース・心理ケアコースの3コース）を設け、専門性を深められる学びを提供してきた。学生がそれぞれのコースでの学びに充実感を持てるように講義内容及び学生指導の充実に努めている。

③学生支援の強化

- ア. 教員アドバイザー制度の活用による学生一人ひとりへの徹底したサポート
- イ. 就職支援として1回生から就職への意識が高まる講義を行い、段階的にステップアップするプログラムを提供
- ウ. 保護者懇談会を実施し、保護者との連携を図ることで学生サポートを強化

④留学生受け入れ体制の構築

- ア. 留学生受け入れプログラム策定し、留学生サポートを強化
- イ. 日本語教育のさらなる充実
- ウ. 留学生向け奨学金制度で生活面をサポート
- エ. 留学生専用寮の整備により生活面をサポート
- オ. 英語版・中国語版HPにより、留学生希望者に対するサポート強化
- カ. 海外の大学との提携により優秀な留学生の受け入れ

⑤社会人受け入れ体制の構築

- ア. 難波サテライト教室を主に人間学科心理ケアコースで活用し、社会人に学びの場を提供
- イ. 社会人向け奨学金制度の導入により、働きながら学べる環境の提供
- ウ. 主に社会人を対象とした高野山大学連続講座の実施

⑥高校、他大学や地域との連携

- ア. タイ国大学（Rajamangala University of Technology）と連携
- イ. 学校法人千代田学園（大阪千代田短期大学・大阪暁光高校）との連携

※教育学科新設に向けて協力体制を構築

- ウ. りら創造芸術高校との連携

エ. 河内長野市民大学「くろまる塾」との連携（講座の提供）

オ. 高野町と連携し「高野山学」の講座開講

カ. 高野山高校との高大連携強化

⑦私立大学ブランディング事業の実施

文科省私立大学ブランディング事業として、平成28年度から、大学のみならず高野山全体のブランディングを前提とし、プロジェクトを進めている。密教の学術的研究の促進と、世界遺産・高野山ブランドを兼ね備えた「高野山アーカイブ」を構築してきた。

⑧学生募集の強化

ア. オープンキャンパスの開催回数を増やし、内容を充実

イ. 大学案内の充実、効果的な広報物の発行

ウ. 高校訪問・進学説明会への積極的参加

（３）密教文化研究所の活動

１．事業方針および成果の概要

前年度に引き続き、平成29年度も密教文化研究所では、「弘法大師の思想とその展開に関する研究」、「密教の形成と流伝に関する研究」、「密教と現代社会の諸問題に関する研究」を事業の3つの柱として、諸活動を活発に行った。

なお、研究所の刊行物として以上の研究成果を年間の『密教文化研究所紀要』第31号の他に、同紀要の別冊として2冊を刊行した。

２．事業成果の詳細

各事業の詳細な活動報告は次のとおり。

○研究所研究会 活動実績

表１ 活動実績

日程	発表者	発表内容
10月6日	徳重弘志	ブダク写本の経函末部に付された「註釈文」について
	岡田英作	
11月17日	八木高秀	真井覚深師『済世病院布教日誌』（高野山大学図書館所蔵）の解析—真井師が済世病院で伝えようとした弘法大師の思想—
12月1日	ドルジイ・ケルサン	チベット密教における脈と気の研究
12月15日	大柴清圓	弘法大師の二十五歳得度・三十歳受戒説
1月12日	淵田雲溪	南山進流における仮博士の成立について
1月26日	高柳健太郎	『宗義決択集』に見る弘法大師の思想の展開
	北川真寛	真言密教における闡提成仏について—論義書を中心に—

	木下浩良	鎌倉御家人安積伊東氏造立の石造物 —郡山市宝光寺板碑と高野山町石・同奥之院五輪塔—
--	------	--

○弘法大師著作研究会 活動実績

表 2 『秘蔵宝鑑』の研究会を原則として月 2 回行った。

担当箇所	日程	担当者
第八住心	4 月 13 日、4 月 27 日、5 月 12 日	北川真寛
第九住心	5 月 25 日、6 月 8 日、6 月 22 日、7 月 13 日、7 月 27 日	土居夏樹
第十住心	10 月 12 日、10 月 26 日、11 月 9 日	中原慈良
	11 月 30 日、12 月 14 日	武内孝善

○南山教学研究会 活動実績

表 3 輪読会

内容	日程	担当者
初地即極	4 月 20 日、6 月 1 日	平賀由美子
三密具不具	6 月 29 日、7 月 20 日	北川真寛
秘鍵両部	12 月 21 日	土居夏樹
自称会因人	1 月 25 日	高柳健太郎

表 4 研究発表・論文

	発表内容・論文名	発表場所	日程	発表者
論文	『宗義決択集』における遍計所執捨不捨について	『高野山大学論叢』53		土居夏樹
論文	『宗義決択集』に見る弘法大師の思想の展開—「五常引業」を題材として—	『高野山大学密教文化研究所紀要』31		高柳健太郎
発表	『宗義決択集』に見る弘法大師の思想の展開	表 1 参照	1 月 26 日	高柳健太郎
発表	自性会因人・実行当機	真言教学研究会	2 月 23 日	高柳健太郎
発表	三密具闕・三密双修	真言教学研究会	10 月 29 日	北川真寛
発表	真言密教における闡提成仏について—論義書を中心に—	表 1 参照	1 月 26 日	北川真寛

表 5 宗学連携事業 活動実績

主として北川先生が担当。問講の再治・増補は高野山山内住職と共同で活動

勸学会の期間中に、勸学会出仕者に対して講義を行った（高野山の学道の歴史、『秘蔵宝鑑』について、「事六度」について）。
『秘蔵宝鑑』巻下上半の『本書』の書き下し文作成、『打集』のテキストデータ化と書き下し文作成を行い、特に『打集』には語註を添付。また『本書』や『打集』の誤植や誤りを校訂し、勸学会実修に使用。
問講の謂立を集成した『法談論義要集』や『山王院並御影堂月並問講集』に収められた宗・釈論題の再治・増補を行い、現在も続けられている問講の充実に資する資料の作成を目指して活動している。そのため高野山住職会・金剛峯寺法会課などの協力を得て、前年度に引き続いて各論題の活字データ化や解説作成を完了し、『法談論義拾葉集』として出版した。

○南山進流声明研究会

表 6 活動実績

分類	日程	内容・発表者	詳細
研究会	4月18日、4月25日、 5月23日、7月4日、 7月11日、7月18日、 10月10日、10月31日、 12月5日、12月12日	『声明類聚』	三礼・如来唄・云何唄・出家唄・梵音・ 錫杖・散華・対揚・五悔・九方便・理趣 経・四智梵語・心略梵語・不動梵語・四 智漢語・心略看護・仏讃・吉慶梵語・吉 慶漢語・文殊讃・阿弥陀讃・四波羅蜜・ 東方讃・南方讃・西方讃・北方讃・称名 礼
		『法則』	御影供法則・祭文・表百・大般若法則
研究発表	1月12日	瀧田雲溪	表1参照

○中世密教聖教研究会

表 7 活動実績

日程	内容
8月15日～17日	坂口先生作成『別尊要記』第四帖（底本は、高野山金剛三昧院本）の翻刻を もとに輪読（会場：高野山大学高野山キャンパス）。また、高野山霊宝館で開 催された平成29年度夏期企画展「正智院の名宝」を観覧。
2月8日～9日、 2月20日～21日	『別尊要記』第四帖の校訂作業（会場：高野山大学難波サテライト教室）。

○巡礼遍路研究会（協力）

表 9 活動実績

日程	6月24日 補陀洛山総持寺	
記念講演	中西隆英（総持寺住職）	西国三十三所草創1300年
研究発表	松尾心空	胎内くぐりの旅・西国巡礼
	佐藤久光	西国観音巡礼の特徴
	瀬戸善亨	四国遍路における治療的構造と森田療法の関係性について
	中野健秀	学生と繋ぐ四国八十八ヶ所の巡礼遍路

○刊行物

『密教文化研究所紀要』第31号 平成30年3月
『密教文化研究所紀要』別冊 『秘蔵宝鑰』の研究 第二分冊 平成29年12月
『密教文化研究所紀要』別冊 『秘蔵宝鑰』の研究 第三分冊 平成30年3月

○私立大学ブランディング事業の実施

平成 28 年度から事業を進めており、平成 29 年度には、8 月 1 日にアーカイブのホームページを作成し、11 月 25 日にシンポジウムを開催した。今後もコンテンツの増加など長期的に充実した内容のものに進化させていく予定である。

○高野山霊宝館との博学連携プロジェクトの推進

霊宝館と高野山大学との博学連携プロジェクトとして霊宝館の所蔵する御影堂文書の資料をデジタル化し整理・保管・調査を進めた。

（４）図書館の活動

図書館においては、利用者の満足度を高める運営に心がけ、昨年度に引き続き通常 9 時から 20 時の 11 時間を開館時間とした。本学学生・教職員をはじめ同窓生や一般利用者への貸出・返却・レファレンスと、資料の発注・受入・整理等の他、以下の諸事業を図書館では展開した。

◇図書館報『それゆけ!としょかんだより』

毎月、上記の図書館報を発行した。館内ではフリーペーパー、インターネット上では、図書館のホームページで順次、110 号～118 号発行までを公開した。そこでは、前谷彰図書館長の論考をはじめ、図書館の近況やニュースを報じた。

◇『高野山大学図書館紀要』第 2 号の刊行

執筆は本学教授を中心として、112 頁・B5 版の紀要を平成 30 年 3 月に刊行した。同紀要は今も年刊を目途として刊行予定である。

◇図書館戸田文化講座開催

平成 29 年度における同文化講座は、下記の 1 回を開催して好評までに終えることができた。参加者は 40 名程で、本学教職員・学生だけでなく、広く県外や高野山山麓の橋本市・かつらぎ町・和歌山市からも一般の参加者があった。

第 1 回「世界遺産高野山参詣道追加登録について」

講師：入谷和也(和歌山県世界遺産センター主幹)

日時：10 月 19 日(木)16 時 40 分～18 時

場所：高野山大学 2 階 205 号教室

◇図書館ミニコンサート開催

松下講堂黎明館を会場として、高野山内の演奏者と提携して、平成 29 年度において下記の 1 回のミニコンサートを開催した。参加者は本学教職員や学生をはじめ高野町の町民から 40 名程度の参加者があった。

第 1 回「秋のコンサート」

演奏：浦上知子（高野山高校音楽講師）

村尾梓（大阪芸術大学演奏学科演奏要員）

日時：11 月 24 日（金） 16：40～17：10

◇図書館文化講座＆茶話会開催

図書館の閲覧室を会場として、本学裏千家茶道部と提携して、平成 29 年度において下記の 1 回を開催した。参加者は 50 人程度で、本学学生や教職員の意見交換会ともなった。

第 1 回「図書館茶話会」

主催：茶道部

後援：高野山大学図書館

日時：12 月 20 日（水）17 時～18 時

場所：図書閲覧室

※上記図書館茶話会とは別に、5 月 28 日（日）・6 月 25 日（日）の 2 度のオープンキャンパスにて茶話会を開催。

主催：裏千家茶道部

後援：企画課

場所：図書館閲覧室

◇ミニコーナー設置

閲覧室内にミニコーナーを 3 回にわたり設けて関連図書の展示を開催した。

「大政奉還特集」 4～5 月

「三津田信三特集」 6～9 月

「日本遺産特集」 10～3 月

「和歌山と熊楠特集」 11～12 月

※常設「本学卒業生の著作特集」 9 月より。

◇展示コーナー設置

閲覧室内の展示コーナーにおいて次の展示を開催。

「作品展」 静慈圓 4～3 月

◇他大学・関係団体との提携

2017 年和歌山地域図書館協議会フォーラム参加

日 程：2017 年 7 月 9 日(日) 13：00～16：15

場 所：和歌山大学松下会館

講 演：浅居正充（近畿大学生物理工学部図書館長）

「透明人間は可能か？－電磁波分野の発展途上の研究（1）－」

「電波で？再生可能エネルギー－電磁波分野の発展途上の研究（2）－」

◇篠田禹子文庫の整理

前年度に引き続き、平成 29 年度についても、標記文庫の整理を、本学裏千家茶道部との提携により行った。なお、同文庫は東京都足立区在住の篠田禹子氏より寄贈を受けた茶道関係の書画骨董類である。平成 30 年 3 月に整理を終えて、『高野山大学所蔵篠田禹子文庫収蔵品目録』を刊行する。

◇高野山大学図書館善本叢書の刊行

小林写真工業株式会社と委託契約を結び、『高野山大学図書館善本叢書』第 1 巻として、所蔵の稀覯本『密宗年表上下巻』を影印・解題付で刊行する。（定価 38,000 円（税別））

3. 高野山高等学校

(1) 総論

高野山高校では、平成29年度入学者が41名であり、目標数の60名に届かなかった。次年度は目標値を達成できるように努力を積み重ねていく。特に地元の中学校からの入学者を獲得できるよう努力していく。

平成30年度においても現行の取り組みを継続して実施する。生徒指導においては宗教教育を中心に据え、心の教育に力点を置き、卒業生や保護者から高い評価を得ている。今後は、経営基盤を安定させるために生徒増を図る努力と、従来以上の収入を確保するための事業展開が必要であることから、通信制課程を平成27年9月1日に開校し、29年度は本校17名、東京11名、大阪2名の計30名の生徒を預かり、9月に1名、3月に11名の卒業生を送り出した。まだ、目標の生徒数を確保するには至っていないため、更に、様々な手段を講じて生徒数の増加に繋げていく。本年は宗団のご理解とご協力を得て、懸案の寄宿舎、食堂、浴室のリニューアル工事を行った。在校生の生活環境の向上につなげることができ、生徒募集の起爆剤ともなった。

11月3日には恒例の比叡山高校との硬式野球部の野球交流試合があり、今年度は比叡山に赴き、交流親善試合を実施した。

(2) 現状

①高野山高校全日制の生徒数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生徒数(宗教科生徒数)	143(27)	152(25)	145(21)	135(19)	125(20)
入学者数(宗教科生徒数)	46(10)	63(8)	52(9)	42(6)	43(5)
高野山大学への進学者数	5	6	3	5	4

②分析

■生徒数の推移

平成29年度の入学者は、平成28年度に比べて微増した。今後、入学者数60名を達成できるよう効果的な募集活動に努める。特に真言宗関係寺院への積極的な働きかけが重要である。

(3) 平成29年度事業報告

①業務改善

■生徒募集の強化

生徒募集の中学校、塾訪問活動を、校長・教頭・教務部長を中心に実施した。また地元の高野山中学校から入学した生徒には授業料減免の措置を講じており、一定の結果が得られてきた。平成29年度、高野町からの補助金が300万円になり授業料減免の措置は継続して実施する。

宗団に対して校長・教務部長が各種会合に参加させていただき、広報活動を行った。ホームページの活用や各種SNSを利用し、学校生活の様子を配信し生徒の活動を発信し、保護者等への情報公開も行っている。

②投資的事業

■スクールバスの運行

紀の川筋からの生徒獲得を企図し、スクールバスを運行。平成29年度の利用生徒は18名。バス通学生徒の他、寄宿舍生が高野町外の病院へ通院する際や帰省の折、片道500円で利用出来る事も可能で好評である。

(4) 事業の概要

①全日制課程 教育に関する取り組み

■普通科・宗教科における教育内容

・普通科特別進学コース・自己探求コース

普通科特別進学コースでは演習の時間を設け、個別指導を重点におき、自己探求コースにおいて、数学では公文式教材を使用し個別指導、国語は漢字能力検定用の教材を使用し個別指導、英語ではインターネットを利用した個人指導を行なった。英、数、国に関しては3学年共、習熟度別にクラスを編成して授業を実施している。

また、1学年の基礎学力未定着者に対しては、「学び直し」の補習を、3年生も希望進路に向けて、放課後や土曜日を利用し、英、数、国の補習授業を実施した。長期休暇には各学期に定期考査の基準点に到達していない生徒を対象に、補習や進学・就職対策講座を実施している。

・普通科スポーツコース（硬式野球・バスケットボール・サッカー）

スポーツコース（硬式野球・バスケットボール・サッカー）では、体育理論やスポーツⅡの授業において、それぞれの競技をより専門的に学び、技術の向上は勿論、指導方法なども体験の中から学んでいる。硬式野球部は秋季近畿地区県予選において、2次予選に進むもベスト8に留まった。女子ハンドボール部は春季大会、和歌山県高等学校総合体育大会、秋季県大会に於いて全て3位となり、さらなる飛躍を感じさせる戦いであった。

・宗教科

宗教科では、必須科目の修得の上、結縁灌頂、差別戒名追善法会、受戒、青葉祭、僧堂研修（高野山大学）、四国遍路をはじめ音楽法会、追悼法会、えひめ丸慰霊法会など日頃の修練の結果を発表し充実した学習に取り組んでいる。

■国際交流

- ・平成29年12月23日～12月28日、インターアクトクラブがタイ研修を実施。
- ・平成30年2月6日～2月9日、2年生特別進学・自己探求コースがベトナムに研修旅行を実施。

■学校行事

実施した主な年間行事は以下のとおり。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 音楽法会・育友会総会 | 5月27日(土) |
| 2. 青葉祭前夜祭 | 6月14日(水) |
| 3. 青葉祭 | 6月15日(木) |
| 4. 明神社大祭 | 10月16日(月) |
| 5. 四国遍路 | 10月23日(月)～10月27日(土) |
| 6. 南嶺祭(文化祭) | 11月 4日(土)、 5日(日) |
| 7. 追悼法会・公開授業 | 11月18日(土) |

■ボランティア活動

報恩日に金剛峯寺での清掃奉仕を実施している。

インターアクトクラブにおいて高野山ロータリークラブのご支援の下、募金活動や高

野山小学校や高野山こども園において絵本の読み聞かせボランティアを行った。

■平成29年進学実績

今年度は、特別進学コースでは東北大学（経済学部）や、防衛大学校への進学者を輩出し、次年度へ向け各学科・コースでの学びを活かし、生徒の希望や適正に沿った進路指導を行う。

大学（大学校）

<普通科（特別進学）>

東北大学（経済学部） 大阪芸術大学（芸術学部） 帝塚山大学（法学部）
防衛大学校（人文・社会科学専攻）

<宗教科・普通科（スポーツ／自己探求）>

高野山大学（文学部）4 専修大学（商学部・文学部）2 流通科学大学（経済学部）
大阪産業大学（経営学部）2 阪南大学（流通学部） 徳山大学（経済学部）
大阪河崎リハビリテーション大学（理学療法学部） 大阪経済法科大学（法学部）
大谷大学（文学部） 大阪工業大学（知的財産学部） 天理大学（国際学部）
阪南大学（経済学部） 大阪芸術大学（芸術学部） 桃山学院教育大学（教育学部）
九州共立大学（経済学部） 太成学院大学（人間学部） 帝塚山大学（法学部）
東京医療保健大学（和歌山看護学部） 仏教大学（別科）

専門学校

<普通科（スポーツ／自己探求）>

錦秀会看護専門学校 大阪リゾートスポーツ専門学校 高津美容専門学校
履正社医療スポーツ専門学校 天王寺動物専門学校 大原学園専門学校
関メディベースボール学院 高津美容専門学校 京都芸術デザイン専門学校
新潟看護医療専門学校

就職

<普通科（スポーツ／自己探求）>

株式会社カットツイン2 井上軸受工業株式会社 株式会社マサ住設
株式会社美スギ 日進化学株式会社 兵庫県弘法寺

②生徒募集に向けた取り組み

中学校訪問は、大阪、兵庫、奈良、和歌山を中心に四国4県、東京23区、横浜、名古屋方面にも展開した。学習塾への訪問は、大阪、奈良、和歌山を中心に展開した。また、東京私塾協同組合とも連携をはかり、関東地区での広報活動の足がかりとした。

また、宗団関係として教師研修会、寺族婦人会、各支所長会議等での広報活動や全国高野山真言宗寺院(他宗派寺院含む)へのダイレクトメールの発送を行った。また、以下のような募集活動を実施した。

■学校説明会

・中学校主催

和歌山市中学校合同説明会 (9月26日)

伊都地方中学校合同説明会 (10月12日)

奈良県中学校合同説明会 (10月19日)

高野山中学校 説明会 (11月9日)

・学習塾、各種団体主催

全国学習塾協会総会 (6月11日)

泉州私塾連合会例会 (7月13日)

中和教育研究会 (9月18日)

五ツ木書房主催私立学校合同進学説明会 (10月 8日)

泉州私塾連合会主催私立学校合同進学説明会 (10月29日)

全寮協主催「寮のある学校説明会」

名古屋 (11/10)、大阪 (11/11)、横浜 (11/17)、東京 (11/18)

■体験入寮・体験スクール

対象者に施設・設備を開放し、各コースの詳細説明や、実際に一日寄宿してもらい寮生活を体験して頂く事業。第1日目午後から寮見学と宿泊体験。翌日は学校説明会で各学科、コースのプレゼンテーションにより、本校の教育内容を分かりやすく提示した。イベント告知の展開は、中学校、塾への訪問の際、当イベントのチラシを持参。過年度の資料請求者へも案内を送付した。

第1回：平成29年 8月26日(土)・27日(日)

第2回：平成29年11月11日（土）・12日（日）

第3回：平成29年12月 9日（土）・10日（日）参加者：32名（3回の合計）

■公開授業

実施日 平成29年11月18日（土）

■公開実力テスト

大 阪：平成29年11月19日（日）

和歌山：平成29年12月10日（日） 45名

■教育講演会

大阪、奈良、和歌山の学習塾（約1,300件）にイベント案内を送付。本教育講演会は、一度に多数の塾関係者や教師と親交を保ち、本校の教育内容を披瀝する事の出来る機会である。

・伊都橋本

日 程：平成29年7月19日（水）

会 場：橋本市産業文化会館

対 象：伊都地方中学校長及び進路指導担当教員

演 目：お大師様と甲子園への道

講 師：廣瀬 義仙（高野山真言宗東京別院主監）

・大阪

日 程：平成29年9月15日（金）

会 場：高野山高校通信制大阪学習センター（難波サテライト）

対 象：大阪・兵庫・奈良塾関係者

講 師：廣瀬 義仙（高野山真言宗東京別院主監）

講 題：お大師様と甲子園への道

参加者数：60名

・和歌山

日 程：平成29年9月26日（火）

会 場：和歌山ビッグ愛

対 象：和歌山県内塾関係者

演 目：ティーンからのメッセージ～知ってもらいたい子供たち
 講 師：家田 莊子（ノンフィクション作家、高野山真言宗僧侶）
 参加者数：25名

■テレビ広告

テレビ和歌山制作で私学2校による学校紹介番組を放映

平成29年 8月 5日（土）12:00～12:45

平成29年11月 4日（日）19:00～19:45

■テレビ放映

平成29年9月6日（水） NHK Eテレ Rの法則「世界遺産にある通学路」

宗教科の授業風景と寄宿舎の様子などのレポート

平成29年11月11日（土） 読売テレビ あさパラ

「川合俊一の東京オリンピックの星★発掘プロジェクト」通信制 寺西飛香留

■平成30年度入試結果

出願区分	受験者数	合格者数	入学手続き者数
専 願	39	39	38
併 願	12	12	0
合 計	51	51	38

■平成30年度以降の事業展開

校舎、寄宿舎等の施設の改善が求められる。経年劣化による建物、設備の修繕も後を絶たず、喫緊に改善が必要と思われるのが、校舎棟来賓トイレの配管及び設備の改修、校舎棟暖房設備の改修である。事業実施の優先順位やそれに伴う資金調達方法について協議していく。

通信制課程普通科

1. 運営方針

- (1) 高野山高校通信制課程の構築に際し、単に生徒数の増大だけを考えるのではなく、高野山全体の繁栄に貢献できるような視点から計画運営するように心がける。具体的には、通信制の生徒数増加に伴い、高野山訪問者がその保護者、関係者等の同伴により増加し、また宿坊等の利用も増えるように努力する。
- (2) 他の通信制高校とは異なり、即物的な教育ではなく、人間の根本をなす心の教育、一寸先は闇の、予測不可能な変動めまぐるしい現在の世の中でしっかりと生きていける心の教育、例えば弘法大師の偉大な思想に基づき、写経や瞑想等のスピリチュアルな癒しで他校との相違点を明確にする。
- (3) 教師中心ではなく生徒を中心とした、生徒に寄り添う教育。生徒の成長課題を一緒に考えるように努力する。

2. 生徒数（入学者数）

所属 年度	本校	大阪学習 センター	東京学習 センター	合計
平成 28 年度	11	3	19	33
平成 29 年度	4	2	2	8

3. 事業報告

(1) 生徒募集

・入学相談・説明会

A. 大阪学習センター

5月18日、6月29日、9月15日、10月12日、11月16日、12月14日、
1月18日、2月15日、3月8日

B. 東京学習センター

4月22日、5月13日、6月24日、7月15日、8月19日、9月30日、
10月21日、11月18日、12月16日、1月20日、2月17日、3月3日、
3月17日、3月31日

・通信制高校合同説明会

7月27日、2月25日(ブース参加) 7月28日(資料参加)

- ・全国の真言宗各寺院，近畿圏の中学校・学習塾，東京 23 区の公立中学校・高等学校，四国 4 県中学校，横浜市内中学校等への入学案内等送付。
- ・『高野山教報』への募集広告掲載。

本校は完全な広域制なので日本全国どこからでも入学できる。広告手段として高野山真言宗寺院のネットワークを活用するように努力した。

(2) スクーリング・特別活動

基本的には、できるだけ多く高野山高校本校での集中スクーリングに参加させるよう努めた。同時に保護者、生徒関係者も高野山に来ていただけるように告知した。

A. スクーリング

- ① 7 月 31 日～8 月 2 日(高野山高校)
- ② 8 月 21 日～22 日(高野山高校)
- ③ 12 月 20 日～22 日(高野山高校)
- ④ 12 月 19 日，22 日，25 日(東京学習センター)
- ⑤ 2 月 21 日～23 日(東京学習センター)

※上記の他にも、在校生の状況に合わせて、本校と各学習センターにて個別にスクーリングを実施した。

B. 特別活動

廟参，金剛峯寺見学，写経体験，ねぶた制作，宝来づくり，
霊宝館文化財ふれあい体験，ごま豆腐作り体験，生け花体験等実施

(3) 単位認定試験

・前期

- A. 高野山高校 8 月 23 日
- B. 大阪学習センター 8 月 24 日
- C. 東京学習センター 9 月 4 日～6 日

・後期

- A. 高野山高校 3 月 1 日

B. 大阪学習センター 2月28日

C. 東京学習センター 2月26日～28日

(4) サポート校の組織化

通信制課程の場合、生徒募集に塾等と提携して生徒募集を効果的に実施できることが多い。そのために業務提携覚書を交わしてサポート校になってもらっている。本校は全国どこからでも募集可能なので全国でサポート校を募集している。現在、関東、近畿にまたいで27校のサポートを組織している。

(5) 平成29年度 進路実績

大阪府立大学 近畿大学 関西大学 京都産業大学
追手門学院大学 大阪芸術大学 和光大学 高野山専修学院
語学留学（カナダ・ウクライナ） バレエ留学（フランス） 自衛隊

4. 今後の課題

- (1) 生徒数の増加に尽きる。通信制高校としては後発組であり、地の利の不便さ、など種々の制約要因が散在しているが、お大師さまの高野山の特色を生かして、他校には見られない精神修養に最適な学校として特色化をはかり高野山の発展に貢献したい。
- (2) 高野山真言宗のネットワークを活かし、教育問題に関心のある寺院にサポート校になっていただき、本校の通信制と連携して生徒を育成していきたい。また、このことが高野山真言宗の繁栄につながればと期待している。
- (3) 不登校や引きこもり等の相談、研修会等をなるべく多く実施することで社会に貢献し、また本校通信制への入学に繋げたい。
- (4) サポート校との連携システムを強化する。

4. 高野山幼稚園（高野山こども園）

高野町との公設民営の形態で指定管理者として「高野山こども園」の運営を請け負い、1歳児から5歳児を対象とした長時間保育、3歳児から5歳児のみを対象とした短時間保育、預かり保育、長時間保育児を対象とした延長保育を実施し、4年目の運営を終えた。

（1）事業の概要

①教育に関する取り組み

■教育内容

健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域並びに、道徳的・芸術的・宗教的情操教育を取り入れた教育を行っている。

■早朝保育と延長保育の実施

園児に対して、午前7時半からの早朝保育や午後5時以降の延長保育も行った。こども園として地域の子育て支援の主体として活動している。

■宗教教育

高野山という地域の持つ風土的特性にも考慮した形で宗教的・道徳的な要素を加味した教育・保育を実施した。

②運営に関する取り組み

■和歌山県・高野町との協議

和歌山県・高野町と連携し、業務・運営に関する事項の改善に努めてきた。

■施設・設備の環境整備

高野町との協議の中で積極的に施設の整備や改善を要望してきたが、全てが改善されたわけではなく、今後も高野町との協議の中で積極的に施設の整備や改善を進めていく。

（2）今後の課題

現在は、公設民営方式として幼保一体の事業を行っているが、公設民営方式での学園の特色を生かした教育・保育の実施や創意工夫をさらに進める可能性を探ることが課題である。

以 上